

有限会社丹羽工業 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 5 日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

企 業 名	有限会社 丹羽工業	
代 表 者 名	丹羽 和徳	
所 在 地	本社 札幌市東区東雁来 8 条 4 丁目 1 番 10 号	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	9 名 (2025 年 9 月現在)	
業 種	建設業	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">・ 新築/増改築/改修工事・ 耐震工事・ 店舗工事・ 造作建具工事	
沿 革	2005 年 3 月 2014 年 11 月 2015 年 1 月 2022 年 8 月 2025 年 3 月	有限会社丹羽工業 設立 現在の東雁来へ本社移転 建設業許可取得 SDGs 宣言書 発行 SDGs 教育私募債(寄付寄贈型) 発行

2. 経営理念

経営理念

プロのための専門業者として北海道に貢献する会社を目指す。

有限会社丹羽工業は、老若男女が安心して暮らせる街づくりに貢献し、「プロのための専門業者」としてお客様に最適な価値を提供し続けることを使命と考え、上記の経営理念を定めている。

当社は設立以来 20 年以上にわたり、地域社会の多くの企業に支えられ、今日まで歩んできた。そして、内装工事における知識や技術は、従業員一人一人の努力と成長によって培われたものであり、その力こそが当社の最大の財産であると認識している。今後も地域社会への感謝の気持ちを忘れず、北海道に根ざした企業として確かな技術と信頼される組織づくりを継続し、社会から信頼される企業を目指していく。

3. 事業概要

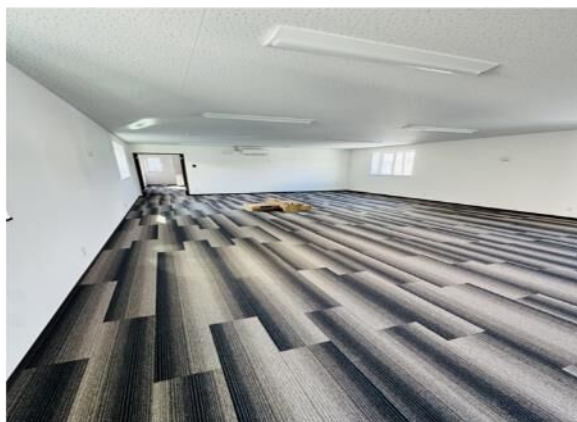
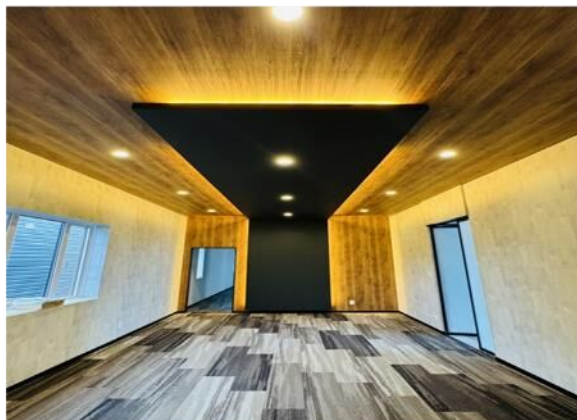
有限会社丹羽工業は、北海道札幌市を拠点に内装仕上げ工事を中心とした建築関連事業を展開している。軽量鉄骨(LGS)による鋼製下地工事や石膏ボード工事を主力とし、新築・増改築・改修、耐震補強、商業施設や店舗の施工、造作建具の製作・設置など幅広く対応してきた。

当社の強みは、豊富な経験と技術力を基盤に、発注者の予算や要望に合わせた最適な施工を実現できる柔軟な対応力にある。

鋼製下地工事では、LGS を使用することでコストパフォーマンスが高く工期も短縮した施工が可能となり、安定した品質を提供している。また、ボード貼り工事においては、耐火・遮音・調湿など機能性に優れた多種多様なボード材を現場環境に応じて使い分け、快適で安全な空間を実現している。さらに、クロス工事では、デザイン性に富んだ壁紙や機能性を持つ素材を幅広く扱い、空間の目的やイメージに最適な仕上がりを提供している。

店舗工事に関しては、飲食店やスーパー、ホームセンターなど規模の大小を問わず、幅広く対応してきた実績を有する。これにより、商業施設に必要とされるデザイン性・機能性・耐久性をバランス良く備えた施工を行うことが可能である。さらに、協力会社との強固なネットワークを活かし、大型工事においても必要な人員を確保できる体制を整えている点も大きな強みである。これらの取り組みにより、有限会社丹羽工業は内装工事の幅広い領域で安定した施工力を発揮し、多くのお客さまから信頼を獲得してきた。今後も培ってきた技術と経験を活かし、地域の発展や快適な生活空間の提供に貢献していく。

■ 施工実績



出所：有限会社丹羽工業 提供資料

有限会社丹羽工業は、持続可能な社会の実現に向けて SDGs への取り組みも積極的に進めている。当社では、SDGs 宣言書を策定し、全社的な行動指針を示すとともに、SDGs 教育私募債(寄付寄贈型)を活用して地域社会への貢献や従業員の働きがい向上を実現している。また、地元とのつながりを大切にしながら、人材育成や地域活動への協力を通じて地域に根ざした企業づくりを推進している。今後は環境配慮型車両の導入をさらに促進し、脱炭素経営に一層力を注ぐことで、環境保全と経営の両立を図り、地域社会とともに持続的な成長を目指していく。



2022年6月5日
有限会社 丹羽工業
代表取締役 丹羽 和徳

SDGsの達成に向けた取組
当社は国連が掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行っています。

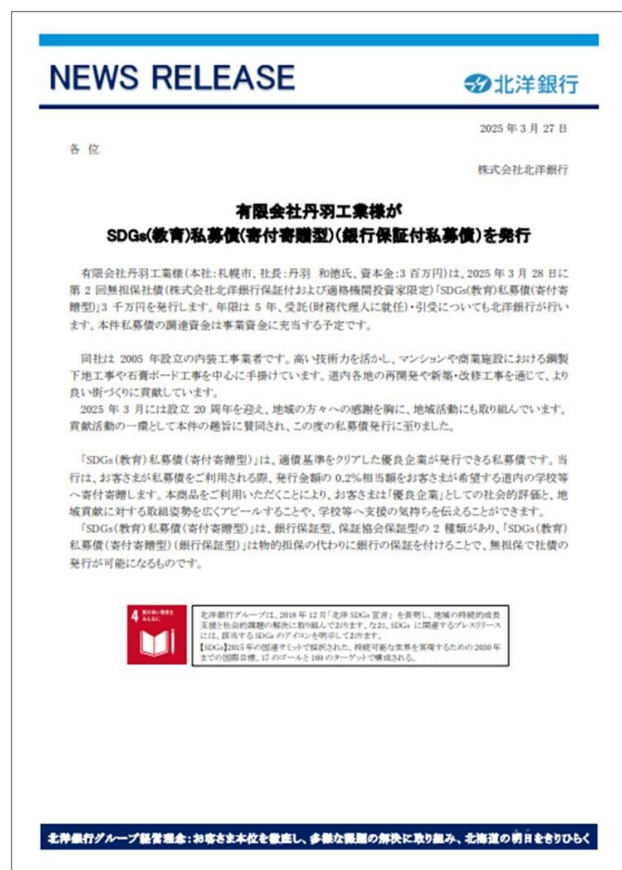
心ゆとりを働くチカラに
「心身の健康」をモットーに従業員一人ひとりが働きやすく、かつ成長し続けられる職場を提供し、企業活動におけるパフォーマンスの向上を促進しています。

豊かな自然を未来の子供へ
商業施設のマイイルや保護の有効活用へ積極的に取り組むことで環境負荷を低減し、今を生きる者の幸福として、豊かな自然を守りつづけることに貢献しています。

信頼される組織の構築と確かな技術の提供
法令順守の徹底や、あらゆるリスクの想定により有事の際の迅速な事業活動再開を実現し、地味な技術を提供し続けられる体制を整備しています。

地域社会の一員として豊かな街づくりに貢献
雇用創出に積極的に取り組むとともに、スポーツ文化芸術への参加や協賛を通じて、若者世代にとって住みよい街づくりに貢献しています。

SDGsとは
SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」を2030年に、持続可能な社会の実現を目指して、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。



NEWS RELEASE

北洋銀行

2025 年 3 月 27 日

各位

株式会社北洋銀行

**有限会社丹羽工業様が
SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)(銀行保証私募債)を発行**

有限会社丹羽工業様(本社:札幌市、社長:丹羽 和徳氏、資本金:3 百万円)は、2025 年 3 月 28 日に第 2 回無担保社債(株式会社北洋銀行保証付および適格機関投資家限定)「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)」3 千万円を発行します。年限は 5 年、受託(財務代理人に就任)・引受についても北洋銀行が行います。本件私募債の調達資金は事業資金に充当する予定です。

同社は 2005 年設立の内装工事業者です。高い技術力を活かし、マンションや商業施設における鋼製下地工事や石膏ボード工事を中心に手掛けています。道内各地の再開発や新築・改修工事を通じて、より良い街づくりに貢献しています。

2025 年 3 月には設立 20 周年を迎え、地域の方々への感謝を胸に、地域活動にも取り組んでいます。貢献活動の一環として本件の趣旨に賛同され、この度の私募債発行に至りました。

「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)」は、適格基準をクリアした優良企業が発行できる私募債です。当行は、お客さまが私募債をご利用される際、発行金額の 0.2%相当額をお客さまが希望する道内の学校等へ寄付寄贈します。本商品をご利用いただくことにより、お客さまは「優良企業」としての社会的評価と、地域貢献に対する取組姿勢を広くアピールすることや、学校等へ支援の気持ちを伝えることができます。

「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)」は、銀行保証型、保証協会保証型の 2 種類があり、「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)(銀行保証型)」は物的担保の代わりに銀行の保証を付けることで、無担保で社債の発行が可能になるものです。

北洋銀行グループは、2018 年 12 月「北洋 SDGs 宣言」を策定し、地域の持続的成長と社会課題の解決に取り組んでいます。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015 年の国連サミットで採択された、持続可能な社会を実現するための 2030 年までの国際目標。17 のゴールと 169 のターゲットで構成されています。

北洋銀行グループ経営理念:お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日をきりひらく

出所:北洋銀行 HP


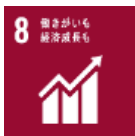
4. サステナビリティ目標

有限会社丹羽工業の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、有限会社丹羽工業の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、有限会社丹羽工業のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの実現
目 標 ・ K P I	有給取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。